

厚木支部 気楽な散策会#3 開催報告

——「晩秋の浦賀散策」—— 令和3年11月6日

11月6日(土)、厚木支部主催の気楽な散策会#3を実施しました。一昨年に#2を実施して以来しばらく途絶えていた気楽な散策会を、コロナ禍の緊急事態宣言もやっと明け、第5波の猛威もやっと収まりが見え始め、ウイズコロナの時代への日常の変換に合わせて、厚木支部の活動として再開、試運転いたしました。今回のコースは、「晩秋の浦賀散策」として、京急浦賀駅をスタートし浦賀湾の周りを東側から時計回りに散策し、途中「浦賀の渡し」で浦賀湾を渡ることにしました。



当日は、天候に恵まれたなか、先ず東叶神社を目指して浦賀駅から旅のスタートです。集合写真以外は皆さんにマスクの着用をお願いして、ちょっと息苦しいけど我慢の散策ではありました。

最初は浦賀ドックの工業用水路跡の「水のトンネル」を訪れ、そして、八雲神社へ向かいます。八雲神社には45段の石段があります、登りきると江戸時代の神社があり浦賀湾を見ることができます。まだまだ元気に石段を下り、次の乗誓寺へ、瀟洒なお庭と鐘突堂からの眺めを楽しんで、専福寺を経て、東叶神社へ。



東叶神社は、ちょっと早い七五三お祝い詣ででにぎわってました。さて、神社の鳥居をくぐり本殿でのお参りを済ませ、いざ200段の石段制覇です。本殿の脇を浦賀城址のある明神山の山頂へ、何度か休憩しましたが、全員無事山頂からの眺望を楽しむことができました。東京湾の入口浦賀水道の、そして対岸の房総里見氏の監視と戦国時代、幕末のロマンに浸れる眺めでした。今度は、200段を下り、本殿横の神輿祠隣の石段で浦賀湾を眺めつつ集合写真を1枚、一息つきました。



「浦賀の渡し」の東の渡しを目指して海辺を行くとクルーズイベントの咸臨丸を見ることができました。浦賀湾を「東の渡し」から粋な渡し船で海風を楽しみながら「西の渡し」へ、そして旅の終わり、西叶神社に到着。東



西の神社を合わせてお参りすると、願いがかなう(叶う)といわれているので、それぞれ旅の安全のお礼と、これからの幸せをお願いして、7000歩の散策を終えて終点の浦賀駅へと戻りました。

その後、汐入まで戻り、沖縄料理居酒屋で反省会を実施、マスク会食ながら、皆さんの近況、仙の倉山荘の話、スイス旅行への思いと思い出、次の散策会の要望と久々の会食に話が尽きることはありませんでした。



参加していただいた方々

- 35C 望月様(横浜支部)
- 44M 植竹様(横浜支部)
- 44C 倉林様(平塚支部)
- 44M 小泉様(厚木支部)
- 45S 岡村様(厚木支部)
- 45S 田村様(厚木支部)
- 49E 横山様(厚木支部長)
- 報告 石崎(厚木支部 企画・幹事 53M)